

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	国際交流推進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	
部等名	総務部	課等名	男女共同参画課	内線	5350	1	2	1	9	11	4	
政策体系上の位置付け	政策	地域に活力をもたらす人脈形成と人材づくり				関連計画、条例等						
	施策	交流ネットワークの構築										
	基本事業											
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続									
事業期間	S63 年度 ~	16 年度	環境調整会議の必要性	なし								

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを目ざします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	飯田市内でも様々な国との交流機会があることを知ってもらえ、また、外国が身近なものと理解する。	飯田市内に住む 日本人住民 飯田市内に住む 外国籍住民	飯田市の日本人住民(住民登録台帳人口)	当初(15)	106000	17年度
			16年度	107000		
飯田市の外国籍住民数(外国人登録者数)		当初(15)	3243	17年度		
		16年度	3211			
意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)		成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)			
飯田市内でも様々な国との交流機会があることを知ってもらえ、また、外国が身近なものと理解する。		飯田市内で開催された国際交流のイベントに本年度参加した市民の割合 (%)	当初実績(15)	0.8	最終目標	
	16目標		1	16実績	1	
	17目標					
	イベント参加者の中で、外国は身近だと理解した飯田市民の割合 (%)	当初実績(15)	50	最終目標		
		16目標	80	16実績	80	
		17目標				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容 (やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
		友好都市シャルルビルメジェールの情報をはじめ、各種国際交流団体からの情報収集及び国際交流関連の会議に参加、また国際協力事業団(JICA)等が実施する事業によって飯田を訪問する外国人と交流することにより、外への国際交流がより活発に行われるようにする。	シャルルビルメジェールとの情報交換(5月に開催される見本市の情報等) 国際交流団体(機関誌等も含む)からの情報収集 国際交流関連(小さな世界都市連合等)の会議への参加 収集した情報を飯田国際交流推進協会を通じて飯田市内の国際交流団体へ共有化	・シャルルビルメジェールとの情報交換数 ・国際交流団体からの情報収集回数
60				

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額
事業費	特定国庫支出金			
	特定県支出金			
	起債			
	その他			
	一般財源	215	12	0
事業費計(A)		215	12	0
人件費	正規職員所要時間	100		
	臨時職員等所要時間			
	人件費計(B)	352	0	0
トータルコスト A+B		567	12	0
				特定財源内訳

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	地球規模でのボーダレス化を理解し、国際交流に興味のある市民が様々な国と多様な交流を展開していく。その中で、世界平和を考えていく市民が増えていく。	飯田市内にある国際交流関連団体へ参加している人数(全会員数)	16目標	11000	16実績	11000
17目標						
飯田市内で海外の団体と交流している団体数		16目標	5	16実績	13	
		17目標				

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
市の民間団体でも各国との交流が開始されたこと、飯田市もシャルルビル・メジェール市と友好提携をしたのを機に、国際交流推進事業が開始された。	・海外旅行で、誰でも外国へ行けるような時代になった。 ・それに伴い、民間の国際交流団体の海外との交流は、ますます盛んになっている。 ・全国的に、交流の軸も外への交流から、内への交流へ変化している。	・時代の変化を受け、今までの外への交流から、内への交流への転換の声があがっている。 ・中学校の総合的な学習の時間で扱う「国際交流」についての問合せは、もっぱら「外への交流」である。

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がある (その理由)		類似事業の有無と統合の可能性(市以外の取組も含む)	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由)		効率性評価 成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価 受益者は誰か?負担の是非、程度は妥当か?	(評価) 妥当である (その理由)	特に求めている

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案)	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	・「多文化共生社会推進事業」に統合し、内なる共生と外に向けての国際交流を一体的に展開していく。	
時期(年度) <input type="text" value="17"/>		